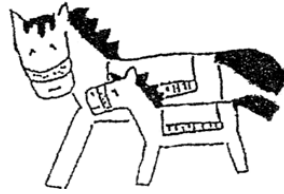


♪
お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと

26年 4月 NO. 233



〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～

4月の主な活動

～お気軽にどうぞ～

4月 4日	金	防災と救命講習会 14:00～16:30	災害時に役立つ小物づくりや備蓄の仕方 AEDの使い方など実技をします。
4月 11日	金	おはなしの会 10:00～11:30	「春をあそぼう」をテーマに絵本や 紙芝居・パネルシアターで楽しみましょう。
4月 12日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って 一緒にあそびましょう。
4月 19日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方も 子育て体験してみましょ。
4月 19日	土	脳力活きいきアート 14:00～16:00	右脳を活性化し、心を軽くするアートです。 偶数月で年6回実施。今月は額に切り抜きを立体的 に貼る作品づくりです。小・中学生の方もご参加 ください。(材料準備のため4/7まで予約要)
4月 23日	水	健康育児相談 11:00～12:00	園医師(小児科)にゆっくり相談できます。 (予約要)
4月 23日	水	香川みずぶさんの会 14:00～16:00	手回しオルゴールを聞いたり、今までの活動を 振り返ります。どなたでもどうぞおいで下さい。

・火～金の13時～16時までは、園内開放しています
ので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談(月～土) 9:00～18:00

しつけや子育てについての悩み、保育園生活
入園・見学についての相談もどうぞ。

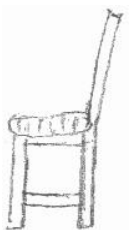
香川県高松市御坊町2-2
高松保育園 地域子育て支援センター



そおかおこいひ
のもるもこすと
まいいさろには
まもものをのす
に わって
あずけます

おかきおこひい
もるよもことす
たいうさろをは
いかはをの
か すわらせて
はかります

矢崎節夫童謡集
うずまきぎんが



オイスカ（公益財団法人）が従来の活動に加えて、子育ての「知育」「食育」の中に「木育（ウッズスタート）」も取り入れ、子どもの心を豊かに育もうという活動を始めました。

🌿 グリーンウェイブを知っていますか？ 🌿



◎オイスカ OISCAとは

オイスカ・インターナショナルは、

「すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界」を目指しています。OISCAは、その英文の頭文字をとったもので1961年に設立され、本部を日本において現在30の国と地域に組織を持つ国際NGOです。

国連が定めた5月22日の朝10時、世界各地の子どもたちがいっせいに学校や地域で木を植える活動です。

地球上の東から西へと活動が広がっていくから緑の波「グリーンウェイブ」といい

◎オイスカの活動

1. アジア・太平洋地域などの有機農業の指導や生活改善などの農林開発のための活動。
2. 植林や森林整備による環境保全活動。
3. 研修を受けた各国の青年が地域のリーダーになれるよう人材育成。
4. 国内での活動を求める声により、森林再生・整備・保全の一環として、つみ木や木のおもちを使った啓発活動が始まりました。



◎日本の森はどうなっているの？

日本は国土の7割が森林で世界3位の森林国です。近年、輸入木材が増加し、（25年間で木材価格が3分の1になった。）林業人口の減少（20年間で半数の5万人になった。）により、森に人の手が入らないまま、細い木が多すぎるのが現状です。そのために森には太陽があたらず、下草も生えず、動物もいないので土の質も良くないまま土砂災害が起こりやすく、地域の環境保全や生物の多様性の維持が難しくなっています。収穫して木をどんどん使うことで、（間引きし、ちょうどよい数に減らすことを間伐（かんばつ）と言います。）木と木の間が広くなり、太陽の光が入ってきます。木が大きくなると二酸化炭素を吸収し、木が元気になることで森からつながっている川や海も元気になります。

◎木材の良さ

- ①木材床よりコンクリート床は、足元の冷えにより「眠気とだるさ」「注意集中の困難さ」を訴えることが多いそうです。
- ②木造校舎または内装を木質化した場合、鉄筋コンクリート校舎に比べ、冬期のインフルエンザ蔓延がおさえられる傾向にあります。
- ③病院・老人施設に木材が多く使用されている場合、長生きし、痴呆も少ないと言われていいます。

オイスカ四国支部（香川県高松市）が「森のつみ木広場」のつみ木インストラクターと「木育ひろば」の木育リーダーの養成講座をしています。

◎森のつみ木広場について

・つみ木のはなし

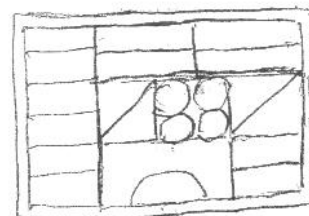
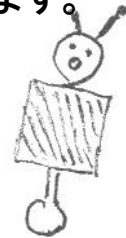
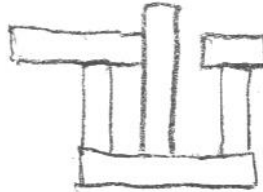
地元の間伐材を利用したつみ木づくりをし、林業の応援をしたり、人と人とのつながりから、地域のつながりへと広がっています。（例として徳島の大工さんが被災地につみ木を1万個作り、沿岸へ。宮城県産・岩手県産材のつみ木も完成し、活用されている。）

・外国では

フィリピン・ミンダナオ島やマレーシアでも開催されている（「子どもの森」計画で子どもたちが植えた木が大きく育ち、間伐材でつみ木制作。小学校や保育所12カ所で広場を開催している。）

・「森のつみ木広場」とは（四国研修センターにおいて）

ヒノキのつみ木1万個とじゅうたん4本を貸出します。この際、オイスカ発行のつみ木インストラクター養成講座をうけた認定書が必要です。だいたい4～5歳を対象に約2時間、実施プログラムに沿ってワークショップをします。



◎「森のつみ木広場」の良いところ

1. 抱え込んでいる口にだせないことを「遊び」を通して表出させる。
2. たくさんのつみ木で「思いっきり遊ぶ」また「遊びきる」ことでストレスを解消。
3. 崩れても何度でも作り直せる遊び ※イヤなことを思い出させるかと心配していたがそうではなかった。
4. 親の心の解放 常に一緒にいるストレスから解放され、子どもの楽しそうな姿に安心する。
5. 世代間をつなぐ遊びになる。(老若男女誰でもできる。)



◎「森のつみ木広場」の流れ

① 準備	40～50分	ワークショップ 約2時間
② スタッフ紹介・つみ木のお約束	5分	
③ 木のクイズ (導入)	5分	
④ つみ木のシャワー	5分	
⑤ 作品づくり (1回目)	20分	
⑥ 作品鑑賞	10分	
⑦ つみ木の作品を一度崩す	5分	
⑧ 作品づくり (2回目)	25～30分	
⑨ 作品鑑賞	10分	
⑩ つみ木の片付け	10分	
⑪ 日本の森のお話	10分	
⑫ 片付け	30分	

お問い合わせ先

公益財団法人 オイスカ 四国支部

〒760-0017 高松市番町 2-17-15 第2 讚機ビル 2 F

T E L : 087-821-1503 Email:shikoku@oisca.org

